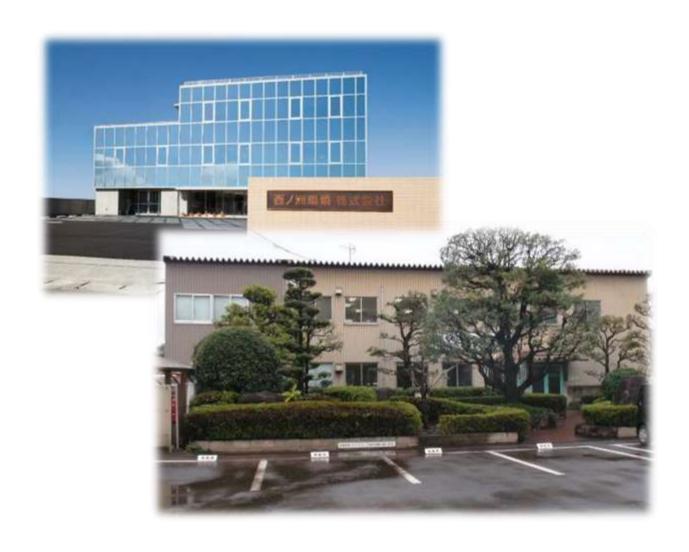
EA21環境活動レポート

取組期間 :2019年4月~2020年3月

発 行 日 :2020年 9月 25日 改 定 日 :2020年 11月 11日



西ノ洲環境株式会社

目 次

1.	組織の概要	1	~7
	 事業者名及び代表者名 所在地 環境責任者氏名及び連絡担当者 法人設立年月 主たる事業内容 事業規模 環境年度(会計年度) 認証・登録の対象組織図 対象組織の事業活動の範囲 許可・登録の内容 廃棄物の料金体系 		
2.	EA21推進体制 環境組織図及び設備車両の状況 2-1.環境組織図 2-2.EA21推進体制 役割と責任及び権限 2-3.施設、車両の状況	- 8~	13
3.	環境方針	ページに	14
4.	環境目標	15~	18
5.	2019年度 EA21活動実績事項及び計画	19~	22
6.	環境目標実績	23~	24
7.	環境目標•活動計画管理表		25
8.	活動の主な取り組み状況	26~	27
9.	環境法規一覧表兼 遵守評価表	28~	30
10). 環境目標の評価と今後の対策(次年度の取組み)	31~	32
11	. 代表者による全体の評価と見直し記録		33

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

西ノ洲環境株式会社 代表取締役 藤 澤 幹 夫

2) 所在地

本社·営業部 〒870-0903 大分市向原沖一丁目1番63号 日本製鉄事業本部 〒870-0902 大分市西ノ洲一番地日本製鉄構内

3) 環境責任者氏名及び連絡担当者

本社•営業部

[環境管理責任者]部 長高 畑 淳 一(2020年 8月1日現在)[担 当 者]課 長東 晃 史(2020年 8月1日現在)[事 務 局]係 長明 石 恵 美(2020年 8月1日現在)

日本製鉄事業本部

 [環境管理責任者]
 常務取締役
 樋口貴宣(2020年8月1日現在)

 [担当者]
 取締役
 野中隆彦(2020年8月1日現在)

 [事務局]
 課長
 佐藤 誠(2020年8月1日現在)

4) 法人設立年月 昭和60年4月

5) 主たる事業内容

ビルメンテナンス業

•建設業

·産業廃棄物処理事業 1)一般廃棄物収集運搬量 759t

2)産業廃棄物収集運搬量 1088t

3)一般廃棄物処分量2546t (リサイクルなし)4)産業廃棄物処分量2598t (リサイクルなし)

• 浄化槽保守点検業

6) 事業規模

•資本金 3千万円

・従業員数 200名(2020年8月1日現在)・売上高 1,410百万円(2019年度)

・事務所の延床面積

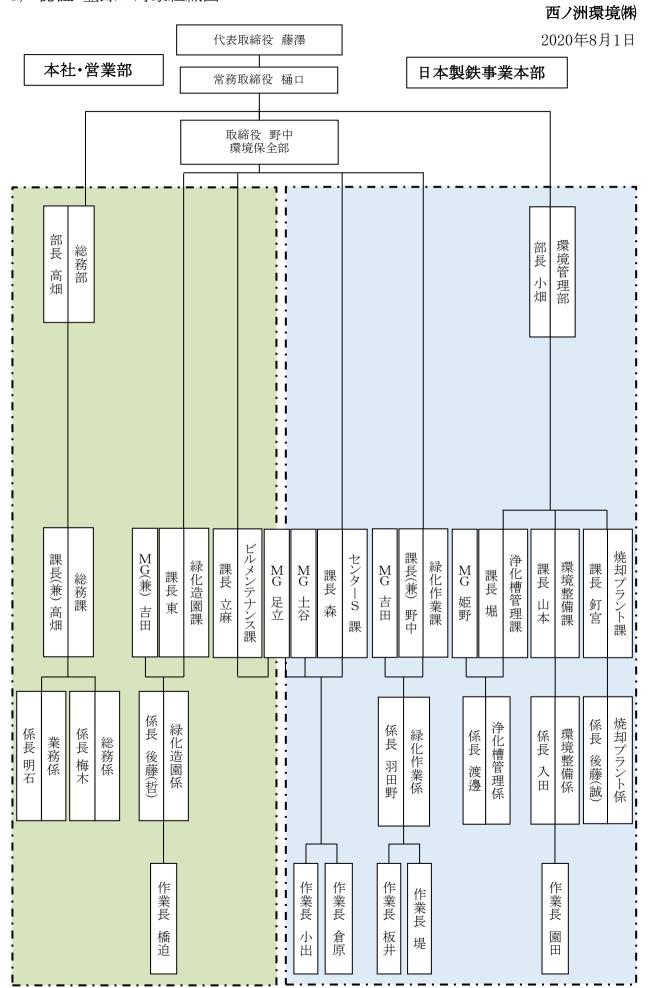
本社 789㎡(3F建て) 日本製鉄事業本部 366㎡(2F建て)

•敷地面積

本社 796㎡ 日本製鉄事業本部 7,086㎡

7) 環境年度(会計年度) 4月 ~ 3月

8) 認証・登録の対象組織図



9) 対象組織の事業活動の範囲

(1)本社•営業部

①従業員の給与計算・社会保険の手続き等(総務課)



②各事業所の清掃作業(ビルメンテナンス課)





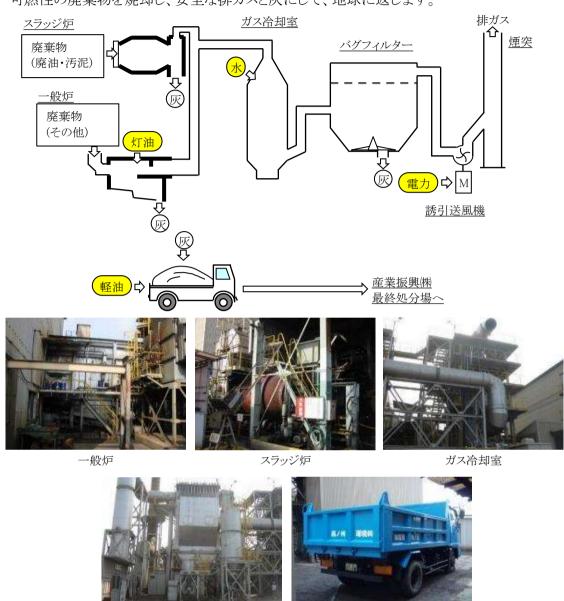
③各事業所の緑化維持作業、造園工事(緑化造園課)





(2)日本製鉄事業本部

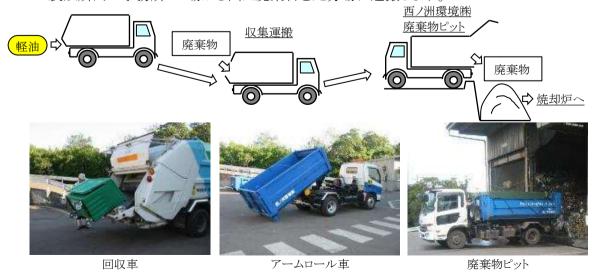
①廃棄物焼却炉設備の運転管理作業(焼却プラント課) 可燃性の廃棄物を焼却し、安全な排ガスと灰にして、地球に返します。



②廃棄物収集運搬作業(環境整備課)

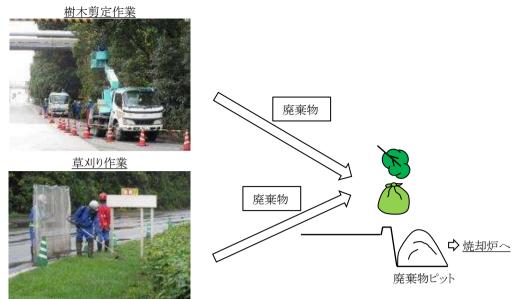
製鉄所内の事務所・工場から出た廃棄物を処分場に運搬します。

バグフィルター



灰運搬車輌

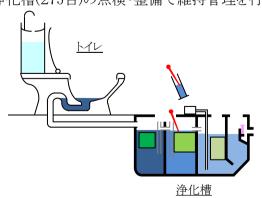
③構内樹木の維持管理作業(緑化作業課) 製鉄所内の樹木や草生地の維持管理作業。



④大型特殊車両(放散水車、清掃車)による発塵防止対策作業(環境整備課) 道路の汚れを水で洗浄・清掃や、未舗装地に水を撒いて発塵を防ぎます。



⑤構内浄化槽設備の維持管理作業(浄化槽管理課) 浄化槽(275台)の点検・整備で維持管理を行います。





浄化槽点検作業

⑥構内事務所の清掃作業(センターS 課) 製鉄所の各事務所に清掃員を送迎し、フロア等の清掃を行います。



10)許可・登録の内容

- (1)本社•営業部
 - ①建築物清掃業
 - ②建築物飲料水貯水槽清掃業
 - ③特定建設業
 - ④一般建設業
- (2)日本製鉄事業本部
 - ①産業廃棄物処理業

許可番号 大分県9清第10-48号 許可番号 大分県6貯第102-5号

許可番号 大分県知事 許可(特-26) 第7346号 許可番号 大分県知事 許可(般-26) 第7346号

 番号
 許可の名称
 自治体
 許可番号
 許可年月日

 事業の区分
 許可の有効年月日

 産業廃棄物の種類

 産業廃棄物収集運搬業
 大分市
 0880001729 収集運搬(積替え保管なし)
 2020年5月31日 2025年5月30日

燃え殻、汚泥(有機汚泥及び無機汚泥)、廃油、廃プラスチック(全ての管理型産業廃棄物であるものを除 く。)、金属くず(全ての管理型産業廃棄物であるものを除く。)、ガラスくず及び陶磁器くず(全ての管理型産業 廃棄物であるものを除く。)、廃アルカリ、ばいじん、紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず、がれき類、施行令第 2条13号に揚げる産業廃棄物(以上14種類。ただし、石綿含有廃棄物を含み、特別管理産業廃棄物であるも のを除く。)

 産業廃棄物処分業
 大分市
 0882001729 2020年5月31日 中間処理:(焼却)
 2025年5月30日

汚泥(有機汚泥及び無機汚泥)、廃油、金属くず、廃プラスチック、ガラスくず及び陶磁器くず、廃アルカリ、 紙くず、木くず、繊維くず、ゴムくず(以上10種類。ただし、石綿含有廃棄物を含み、特別管理産業廃棄物で あるものを除く。)

②事業系一般廃棄物運搬業

許可の名称	事業系一般廃棄物収集運搬業	自治体	大分市		
許可年月日	2020年4月1日	許可番号	5207		
許可の有効年月日	2022年3月31日	収集運搬の区分	収集·運搬		
一般廃棄物の種類	紙くず・木くず・繊維くず・動植物性残	さ・その他事業系一般廃棄	等物		
運搬車両の種類及び台数 キャブオーバー6台、バン1台、コンテナ車1台、パッカー車4台、ダンプ2台					

③浄化槽保守点検業

登録年月日	2019年3月17日
登録番号	大分市 第3号
	2019年3月17日から 2022年3月16まで

④産業廃棄物処理施設

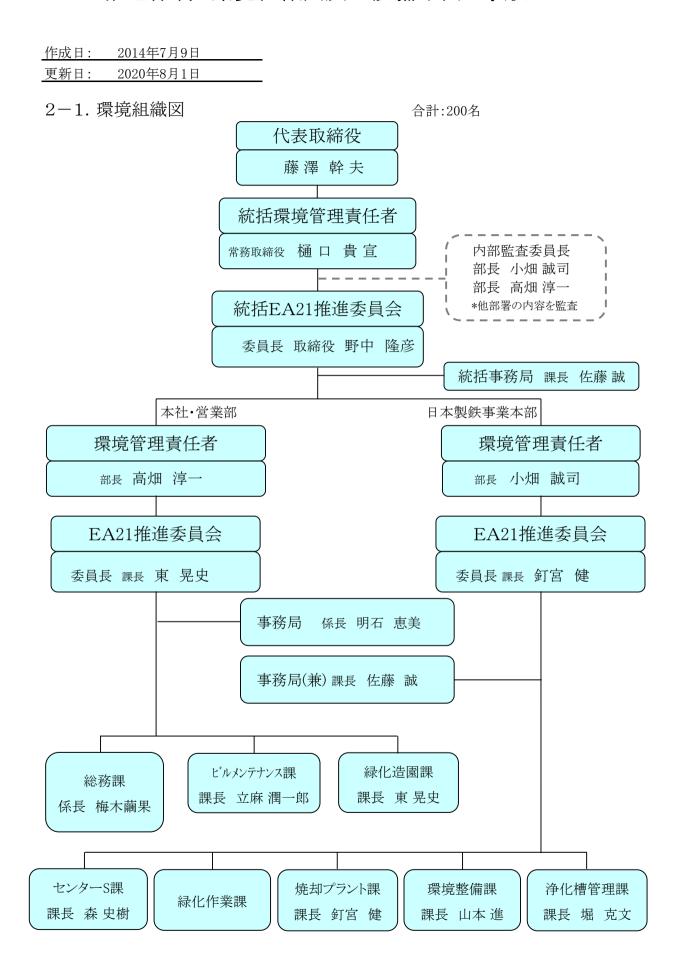
名称項目	一般炉	スラッジ炉	
許可番号	大分市指令清管第719号	大分市指令清管第718号	
許可年月日	2003年3月19日	2003年3月19日	
設置場所	大分市大字西ノ洲1番地	大分市大字西ノ洲1番地	
	廃プラスチック類の焼却施設	汚泥の焼却施設	
処理施設の種類	その他の焼却施設	廃油の焼却施設	
アン王ル地文・グル里大会	(施行令第7条第8号かつ第13号の 2に規定する焼却施設)	(施行令第7条第3号かつ第5号に 規定する焼却施設)	
産業廃棄物の種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、 繊維くず、ゴムくず、金属くず、ガラ スくず及び陶磁器くず	汚泥、廃油	
処理能力	28.56t/日(24時間)	9.6t/日(24時間)	
処理方式	焼却(ストーカー炉)	焼却(キルン炉)	

^{*}処理工程図は9)対象事業所の事業活動の範囲(1)廃棄物焼却炉設備の運転管理作業 (焼却プラント課)を参照

11)廃棄物処理料金

日本製鉄株式会社 九州製鉄所 大分地区と協議により取り決める。

2. EA21推進体制 環境組織図及び設備車両の状況



2-2. EA21推進体制 役割と責任及び権限

1) 本社•営業部

職名	役 割
代表取締役	①環境経営に関する統括責任者
藤澤 幹夫	②環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する
	③環境管理責任者の任命
	④環境方針を定める
	⑤環境目標及び環境活動計画、実施体制を承認する
	⑥代表者による全体の評価と見直しを実施する
	⑦環境活動レポートの承認
環境管理責任者	①環境経営システムを構築、運用、管理に関する責任者
高畑 淳一	②環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する
	③エコアクション21推進委員会の責任者
	④環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認
	⑤環境目標、環境活動計画、実施体制の確認
	⑥環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認
	⑦問題点の是正及び予防処置の承認
	⑧環境活動レポートの確認
EA21推進委員会	①環境目標、環境活動計画の伝達
委員長 東 晃史	②各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告
定例会議(1回/月)、臨時	③環境活動に関する意見交換
EA21事務局	①環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局
明石 恵美	②環境関連文書、記録の管理
	③環境活動に関する実績のとりまとめ
	④外部コミュニケーションに関する窓口
	⑤環境活動レポートの作成
対象部門所属長	①自職場における環境活動計画の企画
各部 課長、係長、主任	②自職場の環境活動の推進
	③自職場の環境活動実績の評価、報告
	④自職場に必要な手順書等の作成、管理
	⑤自職場の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する
	⑥自職場の問題点から、改善テーマを部員に与え、推進し、発表させる
全従業員	①環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する
	②改善テーマの検討、対策の立案・実行、発表に参加する
	③自主的、積極的に環境活動に参加する

2)日本製鉄事業本部

日本製鉄事業本部	役 割			
職名	* * * * * * * * * * * * * * * * * * * *			
代表取締役社長	①環境経営に関する統括責任者			
藤澤 幹夫	②環境経営に必要な経営資源(人・物・資金)を準備する			
	③環境管理責任者の任命			
	④環境方針を定める			
	⑤環境目標及び環境活動計画、実施体制を承認する			
	⑥代表者による全体の評価と見直しを実施する			
	⑦環境活動レポートの承認			
環境管理責任者	①環境経営システムを構築、運用、管理に関する責任者			
小畑 誠司	②環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する			
	③エコアクション21推進委員会の責任者			
	④環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認			
	⑤環境目標、環境活動計画、実施体制の確認			
	⑥環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認			
	⑦問題点の是正及び予防処置の承認			
	⑧環境活動レポートの確認			
EA21推進委員会	①環境目標、環境活動計画の伝達			
委員長 釘宮 健	②各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告			
定例会議(1回/月)、臨時	③環境活動に関する意見交換			
EA21事務局	①環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局			
佐藤 誠	②環境関連文書、記録の管理			
	③環境活動に関する実績のとりまとめ			
	④外部コミュニケーションに関する窓口			
	⑤環境活動レポートの作成			
対象部門所属長	①自職場における環境活動計画の企画			
各課 係長・作業長	②自職場の環境活動の推進			
	③自職場の環境活動実績の評価、報告			
	④自職場に必要な手順書等の作成、管理			
	⑤自職場の問題点の発見及び是正、予防処置を実施する			
	⑥自職場の問題点から、改善テーマをGr員に与え、推進し、発表させる			
全従業員	①環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する			
	②改善テーマの検討、対策の立案・実行、発表に参加する			
	③自主的、積極的に環境活動に参加する			

2-3. 施設、車輌の状況

1)本社•営業部

(1)社屋

A. 施設名

『ゼロエネルギービル』西ノ洲環境株式会社 本社 地球温暖化に伴うCO。削減策の一環としてビルが 使用する電力エネルギーをビル自体が創造するとの コンセプトで建設[平成25年2月4日 竣工]

- B. 構造 鉄筋コンクリート
- C. 規模·設備 地上3階建て
 - ① 3階屋上部分(196㎡)に太陽光発電システム設置
 - ② 2階屋上部分(90㎡)に天然芝緑化システム設置
 - ③ ペアガラス・熱線吸収反射ガラスを採用

 - ④ 駐車場に透水性アスファルト舗装を採用 ⑤ 人感ムーブアイを搭載した空調(エアコン)設備を導入
 - ⑥ 照明器具に全館LEDを採用

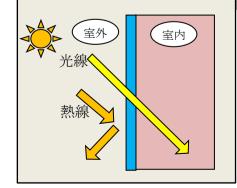


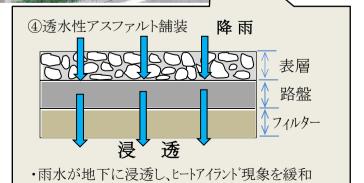


•発電全量を九州電力㈱へ売電



・光線は透過し熱線を遮断する





2)車輌

①総務課

車両名	数量	燃料種別	備考
プリウス	1台	カンリン	5人乗り ハイブリット車
アクア	1台	カ゛ソリン	5人乗り ハイブリット車
小計	2台		

②緑化造園課

車 両 名	数量	燃料種別	備考
2tダンプ	2台	軽油	
4tユニック	1台	軽油	2.9t吊り荷重
ピック車	1台	軽油	
軽バン	2台	カンリン	
軽トラック	2台	カンリン	
パッカー車	1台	軽油	
バックホー	1台	軽油	$0.08\mathrm{m}^3$
バックホー	1台	軽油	$0.016\mathrm{m}^3$
小計	11台		

③ビルメンテナンス課

車両名	数量	燃料種別	備考
連絡車1号	1台	軽油	トヨタハイエース9人乗り
連絡車2号	1台	カ゛ソリン	軽バン
連絡車3号	1台	軽油	トヨタハイエース9人乗り
連絡車4号	1台	カ゛ソリン	軽トラック
小計	4台		

(2)日本製鉄事業本部

(1)<u>焼却関連</u>

7 <u>790-1-1948-</u>			
設備名称	能力	数量	備考
前処理設備	1.5t/H	1基	
廃棄物焼却炉	1.19t/H	1基	
スラッジ焼却炉	0.4t/H	1基	
排ガス処理設備	$22,500 \text{Nm}^3 / \text{H}$	1基	Wetベース
BF灰固化設備	20kg/回	1基	

3)浄化槽

設備名称	能力	数量	備考
浄化槽設備ブロワー	0.2∼0.75kw	283台	構内直、協の合計管理台数

4)車輌

①センターサービス課

車 両 名	数量	燃料種別	備考
マイクロ1号車	1台	軽油	29人乗り
マイクロ2号車	1台	ガソリン	10人乗り
連絡車1号	1台	軽油	トヨタハイエース(9人乗り)
連絡車2号	1台	軽油	日産モコ(9人乗り)
連絡車3号	1台	ガソリン	軽バン
小計	5台		

②緑化作業課

車 両 名	数量	燃料種別	備考
チッパーシュレッダー	1台	軽油	$4\mathrm{m}^3$
4tユニック	1台	軽油	吊り荷重:3.9t
2tトラック	3台	軽油	
大型乗用草刈り機	1台	軽油	2.197L
小型乗用草刈り機	1台	カンリン	653cc
小計	7台		

③焼却プラント課

車 両 名	数量	燃料種別	備考
4tダンプ	1台	軽油	
ホイルローダー	1台	軽油	
バックホー	1台	軽油	
小計	3台		

④環境整備課

世界現實開味			
車 両 名	数量	燃料種別	備考
放水1号車	1台	軽油	12㎡、放水ポンプ専用サブエンジン搭載
放水2号車	1台	軽油	16㎡、放水ポンプ専用サブエンジン搭載
放水3号車	1台	軽油	12㎡、放水ポンプ専用サブエンジン搭載
放水4号車	1台	軽油	12㎡、放水ポンプ専用サブエンジン搭載
放水5号車	1台	軽油	12㎡、放水ポンプ専用サブエンジン搭載
放水6号車	1台	軽油	12㎡、放水ポンプ専用サブエンジン搭載
放水7号車	1台	軽油	12㎡、放水ポンプ専用サブエンジン搭載
放水8号車	1台	軽油	16㎡、放水ポンプ専用サブエンジン搭載
放水9号車	1台	軽油	16㎡、放水ポンプ専用サブエンジン搭載
4t散水車	1台	軽油	$4\mathrm{m}^3$
大型道路清掃車1号	1台	軽油	
大型道路清掃車2号	1台	軽油	
大型道路清掃車3号	1台	軽油	
4t塵芥車	2台	軽油	
2t塵芥車	1台	軽油	
3.5tアームロール車	1台	軽油	
4tームロール車	1台	軽油	
2tトラック車	1台	軽油	
2tダンプ車	1台	軽油	
小計	20台		

⑤浄化槽管理課

車 両 名	数量	燃料種別	備考
点検車	6台	カンリン	
小計	6台		

3. 環境方針

3-1. 基本理念

当社は、昭和60年4月、新日鐵㈱大分製鐵所(現日本製鉄㈱大分製鉄所)の協力会社として構内の緑地管理、各事務所清掃、廃棄物収集運搬焼却処理、放散水車の運転浄化槽の保守点検業務等の環境に係る業務等を受託すると共に、日本製鉄㈱以外にも、公共・民間工事及び緑地維持管理を主とした緑化造園、並びに清掃作業を主としたビルメンテナンスの業務にも取り組み 今日に至っています。

昨今、地球温暖化等で当社を取り巻く情勢が変化していく中で、環境に関わる企業として明日(次世代)の地球環境により良い影響を残すため、地域社会に貢献し積極的に環境問題に取り組んで参ります。

3-2. 基本方針

- 1) 積極的に環境負荷の削減に努める
 - (1) 各燃料使用量の削減活動の推進
 - (2) 電力の省エネ化の推進
 - (3) グリーン購入の推進
 - (4) 廃棄物の削減
- 2) 環境関連法規及び関連する協定(日本製鉄事業本部)を遵守する
- 3) 地域社会との融和を図り環境管理活動を通じ地域に貢献する
- 4) 全従業員にこの環境方針を徹底し、環境意識の向上と改善活動推進のため、教育訓練を計画的に実施する
- 5) 当社の環境への取り組みを「環境活動レポート」としてホームページに公開する

制定日:2014年8月1日 改定日:2019年7月1日

代表取締役藤澤 幹夫

4. 環境目標

4-1. 環境目標(対象年度)

(1)本社•営業部

作成 2019年4月1日

代表者	環境管理責任者	作成
樋口	小畑	河野

【各年度の対象期間は、決算年度4月~翌年3月】

環境負荷			基準年度	2017年度	2018年度	2019年度
採児貝仰 軽減の番号		環境目標	2016年度実績	目標	2010年度 目標	2019年度 目標
性例の借り			2010 十及 天限	口口际	口际	日保
1)	二酸化炭素排出量削減*1		46,952 kg-CO ₂	$\triangle 0.5\%$ 46,717	△1% 46,482	$\triangle 1.5\%$ 46,248
(2)	エネ	電力消費量削減 (電気消費量)	30,158 kWh	基準年度比 △0.5% 30,007	基準年度比 △1% 29,856	基準年度比 △1.5% 29,706
(1)	ルギー使	ガソリン消費量削減 (ガソリン消費量)	5,806 L	基準年度比 △0.5% 5,777	基準年度比 △1% 5,748	基準年度比 △1.5% 5,719
(1)	用量	軽油消費量削減 (軽油消費量)	7,434 L	基準年度比 △0.5% 7,397	基準年度比 △1% 7,360	基準年度比 △1.5% 7,322
(2)		売電量の維持管理	24,364 kWh	基準年度維持 24,364	基準年度維持 24,364	基準年度維持 24,364
1)	水使用	(水使用量)	365 m ³	基準年度比 △2% 358	基準年度比 △2.5% 356	基準年度比 △3% 354
1)	量削減	(雨水用量)	- L	500 L	500 L	500 L
1)	環境	と安全に配慮した施工管理	-	・現場移動時の ・器具使用燃料	燃料使用量削減 の適正管理	
(3)	グリー	ーン購入の推進	12品目	継続的購入実施	継続的購入実施	継続的購入実施
(4)	廃棄物排出量削減 (剪定木くず、産業廃棄物)		100%	100%再資源化		
3)	社会貢献への参加		12回	取り組み事項の検討	毎月1日、朝の20近隣道路等のコ	
4)	従業	員の教育・訓練	12回	技術研鑽の 方策検討	技術向上の為の)研修会

^{*1:2017}年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.463kg-CO2/kWh(九州電力㈱)を採用https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/h31_coefficient_rev.pdf

(2)日本製鉄事業本部

作成日 2019年1月9日

代表者	環境管理責任者	作成
樋口	佐藤	佐藤

【各年度の対象期間は、決算年度4月~翌年3月】

				川は、八弁十次年	_
環境負荷	選択課題	基準年度	2017年度	2018年度	2019年度
軽減の番号		2016年度実績	目標	目標	目標
1)	二酸化炭素排出量削減 (CO2排出量*1)	1,423,164 kg-CO ₂	△1% 1,408,932	△2% 1,394,701	△3% 1,380,469
(2)	焼却炉電力削減 (電力使用原単位削減)	346 kWh/t ^{*2}	基準年度比 △1% 343	基準年度比 △2% 339	基準年度比 △3% 336
(1)	焼却炉灯油削減 (灯油使用原単位削減)	12.34 L/t* ²	基準年度比 △1% 12.21	基準年度比 △2% 12.09	基準年度比 △3% 11.97
(1)	液化石油ガス消費量削減 (LPG消費量)	10 kg	実績管理		
(1)	ガソリン消費量削減 (ガソリン消費量)	14,097 L	実績管理		
(1)	軽油削減(焼却P課) (軽油使用原単位削減)	0.277 L/t* ²	基準年度比 △1% 0.274	基準年度比 △2% 0.271	基準年度比 △3% 0.269
(1)	軽油削減(センターS課) (燃費向上)	4.18 km/L	基準年度比 1% 4.22	基準年度比 2% 4.26	基準年度比 3% 4.31
(1)	軽油削減(環境整備課) (燃費向上)	1.78 km/L	基準年度比 1% 1.80	基準年度比 2% 1.82	基準年度比 3% 1.83
(4)	廃棄物排出量削減 (廃棄物排出量)	1 t	実績管理		
1)	水削減 (水使用原単位削減)	8.33 m ³ /t* ²	基準年度比 △1% 8.24	基準年度比 △2% 8.16	基準年度比 △3% 8.08
(3)	グリーン購入の推進	19 品目	基準年度比 2品目 21品目	基準年度比 4品目 23品目	基準年度比 6品目 25品目
3)	社会貢献への参加			分製鉄所ボラン 大分への参加が加	

^{*1:2017}年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.463kg-CO2/kWh(九州電力㈱)を採用 https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/h31_coefficient_rev.pdf *2:廃棄物の処理量(t)にて原単位を算出

4-2. 新環境経営目標

(1)本社•営業部

作成2020年5月15日改定2020年11月10日

代表者	環境管理責任者	作成
藤澤	高畑	東

【各年度の対象期間は、決算年度4月~翌年3月】

	【台中及VXX 家州间は、伏昇中及4月~立中5月】					
環境負荷	環境目標	基準年度	2020年度	2021年度	2022年度	
軽減の番号	秋 口	2019年度実績	目標	目標	目標	
1)	二酸化炭素排出量削減 (CO2排出量*¹)	$\begin{array}{c} 37,469 \\ \text{kg-CO}_2 \end{array}$	$\triangle 0.5\%$ 37,282	△1% 37,094	$\triangle 1.5\%$ 36,907	
(2)	電力消費量削減 (電気消費量)	31,501 kWh	基準年度比 △0.5% 31,343	基準年度比 △1% 31,186	基準年度比 △1.5% 31,028	
(1)	ガソリン消費量削減 (ガソリン消費量)	4,737 L	基準年度比 △0.5% 4,713	基準年度比 △1% 4,690	基準年度比 △1.5% 4,666	
(1)	軽油消費量削減 (軽油消費量)	5,895 L	基準年度比 △0.5% 5,866	基準年度比 △1% 5,836	基準年度比 △1.5% 5,807	
(2)	売電量の維持管理	23,309 kWh	基準年度維持 23,309	基準年度維持 23,309	基準年度維持 23,309	
(4)	水使用量削減	319 m ³	基準年度比 △0.5% 317	基準年度比 △1% 316	基準年度比 △1.5% 314	
(4)	雨水の活用	460 L	基準年度維持 460	基準年度維持 460	基準年度維持 460	
1)	環境と安全に配慮した 施工管理	-	・器具使用燃料・機械・農薬・薬・作業前TBYを必	品の適正管理		
(3)	廃棄物排出量削減 (剪定木くず、産業廃棄物)	100%	100%再資源化			
3)	社会貢献への参加	12回	取り組み事項の検討	毎月1日、朝の20近隣道路等のコ		
4)	従業員の教育・訓練	12回	技術研鑽の 方策検討	技術向上の為のの実施)研修会	

^{*1:2019}年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.347kg-CO2/kWh(九州電力㈱,2020.9.15)を 採用

(2)日本製鉄事業本部

作成日2020年5月12日改定日2020年11月11日

代表者	環境管理責任者	作成
藤澤	小畑	佐藤

【各年度の対象期間は、決算年度4月~翌年3月】

環境負荷	Name I have drive brief	基準年度	2020年度	2021年度	2022年度
軽減の番号	選択課題	2019年度実績	目標	目標	目標
1)	二酸化炭素排出量削減 (CO2排出量* ¹)	1,181,541 kg-CO ₂	0.0% 1,181,541	0.0% 1,181,541	0.0% 1,181,541
(2)	焼却炉電力削減 (電力使用原単位削減)	322 kWh/t* ²	基準年度比 0.0% 322	基準年度比 0.0% 322	基準年度比 0.0% 322
(1)	焼却炉灯油削減 (灯油使用原単位削減)	12.38 L/t* ²	基準年度比 0.0% 12.38	基準年度比 0.0% 12.38	基準年度比 0.0% 12.38
(1)	液化石油ガス消費量削減 (LPG消費量)	0 kg	実績管理		
(1)	ガソリン消費量削減 (ガソリン消費量)	10,014 L	実績管理		
(1)	軽油削減(焼却P課) (軽油使用原単位削減)	0.238 L/t* ²	基準年度比 0.0% 0.238	基準年度比 0.0% 0.238	基準年度比 0.0% 0.238
(1)	軽油削減(センターS課) (燃費向上)	4.91 km/L	基準年度比 0.0% 4.91	基準年度比 0.0% 4.91	基準年度比 0.0% 4.91
(1)	軽油削減(環境整備課) (燃費向上)	1.71 km/L	基準年度比 0.0% 1.71	基準年度比 0.0% 1.71	基準年度比 0.0% 1.71
(3)	廃棄物排出量削減 (廃棄物排出量)	0 t	実績管理		
(4)	水削減 (水使用原単位削減)	$6.06 \text{ m}^3/\text{t}^{*2}$	基準年度比 0.0% 6.06	基準年度比 0.0% 6.06	基準年度比 0.0% 6.06
3)	社会貢献への参加		:クリーンアップ ンティアへの参		他 各種ボラ

^{*1:2019}年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.347kg-CO2/kWh(九州電力㈱,2020.9.15)を 採用

*2:廃棄物の処理量(t)にて原単位を算出

https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/h31_coefficient_rev.pdf

5. 2019年度 EA21活動実施事項及び計画

(1)本社•営業部

2020年11月11日

----▶:計画 ----:実行

谭	境		4	5	6	7	8	9	10	11	19	_	2	3	4	5天	評
	.児 標	活 動 項 目	月	月	月 月	月	月	月	10 月	月	月	月月	月月	月	月 月	月	価
	'MN	1 傳統士針签章/並左座签章 亦更表 1	力	力	力	月	Л	力	力	Л	力	力	力	力	月	Л	7 111
		1.環境方針策定(前年度策定、変更なし)															-
		2.現状把握														<u> </u>	-
		1)環境への負荷	_	•													
Ť	舌	2)取組状況の把握・評価	Ļ														
	助	(1)自己チェックリストの作成	▶	•													
	售	(2)評価	•	•													
1)	前	3.環境目標・活動計画の策定															
		1)目標の策定(前年度策定、変更)	>	>													
		2)施策の決定			-▶	•											
		3)資料のまとめ				- - >		→									
		3.計画の実行															
		電力量をDOWNさせる(総務課・緑化造園課・ビルメンテナンス課)															
	雷	①執務室内空調設定温度を基本(夏場28℃・冬場20℃)にする						- ▶						Ł			X
	電力	②エアコンのフィルター清掃を定期的(月1回)に行なう												- 🚼			
	使用	③エアコン室外機熱交換器の洗浄を定期的(月1回)に行なう															×
	量	④使用していない照明は消灯する															
	の	⑤使用していない機器は、コンセントからは外す															
二酸	削減	⑥帰宅時、必要以外の機器は、コンセントからは外す														_	\vdash
化		977 = 111-212 **				!			==						•		
炭		⑦パソコンを省電力設定にする		<u> </u>												 	
素排		⑨啓蒙活動(電気スイッチプレートに『こまめに消灯!』シールを貼付する)												-		_	\cup
出出	ガ	燃料給油量をDOWNさせる(総務課・緑化造園課・ピハンメンテナンス課)														<u> </u>	
量	ソ	①アイドリングストップの励行とエコドライブの徹底												-			\bigcirc
削減	リン	②急発進・急加速・急ブレーキをしない安全運転の励行	==											₹		<u> </u>	0
1/5%	•	③法定速度を遵守した運転の励行	==								=	==		3			\bigcirc
	軽油	④適正なタイヤ空気圧での走行(給油時、測定)												- 🕏			\circ
	使	⑤給油時、満タンにせず半分(20L)給油する	==											- 🕏			X
	用量	⑥車輌管理(5,000km走行時、オイル交換を行なう)															\bigcirc
	0)	⑦車輌の中に要らない荷物は積まない												-*			\bigcirc
	削減	⑧啓蒙活動(車輌に燃費向上を促すシールを貼付する)												-*			\bigcirc
	124	⑨夏場のエアコン使用を控え目にし、車内を冷やし過ぎない様にする												-*			
	売	〈売電〉電力量をUPさせる(総務課・ビルメンテナンス課)															
	電量	①太陽光パネルの洗浄を行う(不定期)															\circ
		水使用量をDOWNさせる(総務課・緑化造園課・ビルメンテナンス課)															
排	水使	①不要な水の使用を控え、節水する															
水	用	1) 啓発活動(節水プレート作製・設置)												- 🕏			
量削	量の	2)コップ洗い、業務車輌洗車時、水の出しっぱなし禁止)															O
減	削	3) 雨水タンクの利用(除草剤散布用等の水)															Ö
	減	4)モップ・やタオルを洗う際は、バケッに水を入れ洗うようにする												- +			
		現場移動時の燃料使用量削減(緑化造園課・ビハメンテナンス															\vdash
配		①現場に応じた必要最小限の車両を配置する	<u> </u>											- 🕏			
	環境	②移動前ミーティング・時に使用機材、器具の再確認をする														\vdash	$\frac{\circ}{\circ}$
	と															\vdash	
	安	機器使用燃料の適正管理(緑化造園課・ビルメンテナンス課)								L	<u> </u>	<u> </u>	<u> </u>			<u> </u>	
	全に	①倉庫内専用保管棚で施錠管理を行う												- -			X
理		②現場では直射日光を避け保管する												3		<u> </u>	0
		③機材への給油時は受け皿を使用する											E	 	-		\bigcirc

環境	活動項目	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	評
目標		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	価
配環	機械・農薬・薬品の適正管理(緑化造園課・ビルメンテナンス課)															
境しと	①倉庫内機械器具置き場を明確にする															\bigcirc
配慮した施工管 環境と安全に	②農薬・薬品は倉庫内専用保管棚で施錠管理を行う							:								\bigcirc
管に	③農薬・薬品は不要な在庫を持たない												-*			\bigcirc
グ 購 リ	グリーン購入の推進(総務課)															
入 ン	①継続的購入実施															\bigcirc
排出嚴無物	剪定木くず、産業廃棄物排出量削減(緑化造園課)															
減量物	①100%再資源化を目指す												-*			\bigcirc
へ社	社会貢献への参加(総務課・緑化造園課・ビルメンテナンス課)															
の会参貢	①毎月1日、朝の20分間に近隣道路等のゴミ拾いを実施する															\bigcirc
加献	②年1回の会社行事後、実施場所の清掃活動を行う															\bigcirc
教従	従業員の教育・訓練(総務課・緑化造園課・ビルメンテナンス課)														
練・員	①技術向上の為の研修会の実施															\bigcirc
訓の	②年1回防災訓練を行う											•				\bigcirc

2020年11月11日

項目 4月5月 1.環境方針策定(変更) 2.現状把握 1)環境への負荷(再評価) 2)取組状況の把握・評価 (1)自己チェックリストの作成 (2)評価 3.環境目標・活動計画の策定 1)目標の策定(前年度策定、変更なし) 2)施策の決定 3)資料のまとめ 3.計画の実行 1)センターS 課 (1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする (4)【改善】タイヤ空気圧点検、補充によりタイヤ消耗の軽減と燃費の向上	▶	7月 	8月 	9月 			12月		2月	3月	4月	5月	評化 C
2.現状把握 1)環境への負荷(再評価) 2)取組状況の把握・評価 (1)自己チェックリストの作成 (2)評価 3.環境目標・活動計画の策定 1)目標の策定(前年度策定、変更なし) 2)施策の決定 3)資料のまとめ 3.計画の実行 1)センターS課 (1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2](改善)環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善)手ップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善)浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄化響素力の削減 (3)消路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする				→									
1)環境への負荷(再評価) 2)取組状況の把握・評価 (1)自己チェックリストの作成 (2)評価 3.環境目標・活動計画の策定 1)目標の策定(前年度策定、変更なし) 2)施策の決定 3)資料のまとめ 3.計画の実行 1)センターS課 (1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする				→									
2)取組状況の把握・評価 (1)自己チェックリストの作成 (2)評価 3.環境目標・活動計画の策定 1)目標の策定(前年度策定、変更なし) 2)施策の決定 3)資料のまとめ 3.計画の実行 1)センターS課 (1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(48)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシブトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする				→									
(1)自己チェックリストの作成 (2)評価 3.環境目標・活動計画の策定 1)目標の策定(前年度策定、変更なし) 2)施策の決定 3)資料のまとめ 3.計画の実行 1)センターS 課 (1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする				→									C
(2)評価 3.環境目標・活動計画の策定 1)目標の策定(前年度策定、変更なし) 2)施策の決定 3)資料のまとめ 3.計画の実行 1)センターS課 (1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内暴食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする				→						>			C
(2)評価 3.環境目標・活動計画の策定 1)目標の策定(前年度策定、変更なし) 2)施策の決定 3)資料のまとめ 3.計画の実行 1)センターS 課 (1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3】【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする				→									C
1)目標の策定(前年度策定、変更なし) 2)施策の決定 3)資料のまとめ 3.計画の実行 1)センターS 課 (1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3】【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする				>									C
2)施策の決定 3)資料のまとめ 3.計画の実行 1)センターS 課 (1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする				→									C
3.計画の実行 1)センターS 課 (1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする				••••••••••••••••••••••••••••••••••••••									С
3.計画の実行 1)センターS 課 (1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする													С
(1) センターS 課 (1) ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2) 【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3) 事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4) 事務所内屋食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2) 緑化作業課 (1) 剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2) 【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3) 刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4) 作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5) 詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3) 浄化槽管理課 (1) 課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3) 【改善】浄化槽薬剤の削減 4) 環境整備課 (1) 急加速をしない (2) 円滑なシフトチェンジ (3) 道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする						·							С
(1)ESTRA-Webの活用で無駄な燃料使用の削減 (急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内長食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする													С
(急発進・急加速・アイドリングストップ) (2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする													С
(2)【改善】環境改善(4S)管理C周辺ごみ拾い及び側溝清掃 1~2/月 (3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする		 											Г
(3)事務所内裏紙使用の徹底と仕組み作り (4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする								==-				\vdash	
(4)事務所内昼食時間内の節電 (5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする								==				i	C
(5)節水(清掃作業時での水の流し放した状態にしない・雨水の再利用) 2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする								+					С
2)緑化作業課 (1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする								ᆮ					С
(1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする													Č
(1)剪定枝を集積して、大型粉砕機でまとめて粉砕してチップにする (2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする										_			Ť
(2)【改善】チップを荒れた草生地に敷き込み、緑地の整備と草刈の削減 (3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする								==	==				С
(3)刈払機のエンジンの回転数を調整して、使用燃料を削減する (4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする													Č
(4)作業車輌運転は、急発進・急加速運転を行わない (5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする													Č
(5)詰所・倉庫の電源・エアコンを退室時に切る 3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする													Č
3)浄化槽管理課 (1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする													Č
(1)課員の薬剤の浸け方統一、構内二回目の最低限の薬剤使用 (2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 (1)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする										_			×
(2)薬筒、薬剤への流量調整、水温変化に対応を行う (3)【改善】浄化槽薬剤の削減 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする													C
(3)【改善】浄化槽薬剤の削減 4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする								<u> </u>		E			ľč
4)環境整備課 (1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする							H	==					Ĕ
(1)急加速をしない (2)円滑なシフトチェンジ (3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする										_			H
(3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする										>			c
(3)道路洗浄作業終了後、サブエンジンをカットする													×
(4)【改善】タイヤ空気圧点検、補充によりタイヤ消耗の軽減と燃費の向上													×
													×
													Ë
5)焼却炉プラント課								-					H
(1)道工具使用時以外はコンセントプラグを外す										▶			c
(2)車両運転時、アクセルを踏み込み過ぎない								=					Č
(3)加熱後4時間後より、30分おきに温度チェック								==					C
(4)こまめな照明の消灯										>			C
(5)4tダンプの積載注意(3t未満にする)								==					Č
() () () () () () () ()													c
(7)【改善】淡水使用量の削減パートⅢ													lč
項目 4月5月	6 日	7日	ΩВ	αВ	10日	11 🛭	► 19 日	1日	9日	3日	л В	5 B	H
4.取組状況の確認評価 4.10A 4.10	U/3	1/3	J/1	0/1	10/1	**/1	-4/1	1/7	2/3	0/7	1/7	J/1	H
(1)データのまとめ (次年度)											>		\vdash
(2)分析				(次年	度)							- >	\vdash
(2)分が 5.評価と見直し				→ 1				-					\vdash
5.評価と見直し (1)評価			\dashv	(次年	度)			-					\vdash
(2)見直し			ŀ		度)			-					\vdash
(2)兒里し 6.活動資料のまとめ				(1)				<u> </u>		L			

2019年度 EA21活動計画2(改善活動詳細)

2020年9月17日

1)センターS 課

テーマ:管理C周辺4S

(1)現状把握

・環境改善で側溝から雨水があふれて 構外に流れる可能性がある。 (2)要因の分析

①土や枯れ葉等が詰まっている。②清掃計画がない。

(3)目標:管理C周辺側溝の異物除去。

(4)対策:計画を立てて側溝清掃 1~2回/月

反省:側溝異物除去により雨水が流れるようになった。

2)緑化作業課

テーマ: 粉砕チップの有効活用

(1)現状把握

① 剪定量が増加して、チップが 大量に出来る。

② 草生地の状態(草刈回数)が 把握できない。 (2)要因の分析

①チップは、仮置きが 出来ない。

②草生地の荒れた所がある。

(3)目標:チップ敷き込みで草生地管理

(4)対策

①粉砕したチップを草生地に全て 敷き込み草生地を整備する。

②草生地の草刈回数、茂り方を チェックして、草生地の管理を行う。

反省:剪定枝を粉砕してチップ219トンを15,550㎡の草生地に敷き込み、緑地整備を行なった。草の茂りを抑えて、草刈の頻度も減少した。 3)浄化槽管理課

テーマ:浄化槽薬剤の削減

(1)現状把握

- ①夏の浄化槽の水温調査
- ②構内2回目の薬剤調査
- ③構外点検時の薬剤調査

(2)要因の分析

- ①浄化槽水温調査
- ②構外前回からの減数調査

(3)目標: 薬剤2%削減

(4)対策

- ①夏場の高水温時の薬剤の浸け方
- ②構外前回から薬剤のヘリの調査

反省:目標には達成できませんでしたが、更なる改善を考え削減を実施します。

4)環境整備課

テーマ:タイヤ空気圧の定期点検によりタイヤ消耗軽減

(1)現状把握

- ①月1回、車輌の空気圧を測定し記録する
- ②空気圧の低下したままの車輌もあり、 タイヤのバランスも悪い
- ③運転技術の平均化

(2)要因の分析

- ①空気圧の測定
- ②タイヤ交換の頻度調査

(3)目標:運転技術の平均化と空気圧点検 による燃費の向上(±0.1km/0)

(4)対策

①タイヤ空気圧点検により、適正圧を維持 し燃費向上、消耗軽減を図る

反省:空気圧の低い場合の補充までに時間が掛かり、適正な状態の維持が難しかった。

5)焼却プラント課

テーマ:淡水使用量の削減パートⅢ

(1(1)現状把握

- ①淡水使用量の削減 I、II の取り組みに より削減効果は出ている
- ②現状以外の使用について検討の余地 がある

(2)要因の分析

- ①温水の温度が高いことから粘 度の高い固形物の溶融に適し ている
- ②温水配管ストレーナーの清掃を定期的に実施しているため詰り 発生の未然防止が出来ている

(3)目標:温水使用量のアップ

(4)対策

①スラッジピット内温水使用(温水にて高 粘度スカムの低粘度化を図る)

反省:設備を改造する事で温水による高粘度スカムを低粘度にする頻度が増えた、結果の確認は今後の予定。

(1)本社•営業部

	τĽ	要 中	基準年度((2016年度)	□ / m	2019年	度(実績)	削剂	咸量	2016-2019		烘土
	丏	環境目標	エネルキ'ー量	kg-CO ₂	目標	エネルキ・一量	kg-CO ₂	対2016	対目標	実績対比・ 対策減効果	対目標	備考
二酸(工	g化炭 ネルキ [・]	表排出量の削減 ー使用量の合計)		46,952	$kg-CO_2$ $46,248$ $(\triangle 1.5\%)$	I	41,053	-5,899	kg-CO ₂ -5,195	12.6%減	11.2%減	
エネ		電力使用削減 -務所照明、空調)	kWh 30,158	13,963	kWh 29,706 (△1.5%)	kWh 31,501	14,585	kWh 1,343	kWh 1,795	4.5%增	6.0%増	
ルギー	1	化石燃料削減		32,989			(26,468)	0		19.8%減		
使用のCO	化石燃料	ガソリン	L 5,806	13,480	L 5,719 (△1.5%)	L 4,737	(10,998)	L -1,069	L -982	18.4%減	17.2%減	
2 削減	料の削減	軽油	L 7,434	19,509	L 7,322 (△1.5%)	L 5,895	(15,470)	L -1,539	L -1,427	20.7%減	19.5%減	
7	売電力	量の維持管理	kWh 24,364	-	kWh 24,364	kWh 23,309	_	kWh -1,055	kWh -1,055	4.3%減	4.3%減	
水使用量		水使用量	m³ 365	-	m³ 354 (△3%)	m³ 319	-	m³ -46	m³ −35	12.6%減	9.9%減	
削減		雨水使用量	L -	ı	L 500	L 460		-	L -40			
環		安全に配慮した 施工管理	-	_	90%	1	00%			・修理出来る道具に ・情報を共有し作業		
		ン購入の推進	124	品目	12品目	26	品目			26品目の購	入を確認	
	廃棄物排出量削減 (剪定木くず、産業廃棄物) 社会貢献への参加 従業員の教育・訓練		10	0%	100%	1	00%			100%再資		
1			12	口	12回	1	3回			・毎月1日事 ゴミ拾い活動 ・2019/4/7高 活動実施	動実施	
î			12	□	12回		2回			・毎月1回技能の講習会実施・2020/2/5地第・2020/3/27環境・2020/3/27環境	施 震訓練実施	

※1:2017年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.463kg-CO2/kWh(九州電力㈱), https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/h31_coefficient_rev.pdf

(2)日本製鉄事業太部

				事業本語		- 17	2019年度	(実績)	削	減量	'16-'19 実績対		主な改善	lille de
	選	択諌	題	エネルキ・一量 原単位	kg-CO ₂	目標	エネルキー量 原単位	kg-CO ₂	対2016	対目標	比·対策 減効果	対目標	取り組み	備考
			-使用の 削減		1,423,164	kg $-$ CO $_2$ 1,380,469 (△3%)	-	1,375,205	-47,959	kg-CO ₂ -5,264	3.4%減	0.4%減	-	
		助力	用削減 、照明 也)	kWh 1,818,296	841,871	kWh 1,763,747 (△3%)	kWh 1,669,520	(772,988)	kWh −148,776	kWh -94,227	8.2%減	5.3%減	_	
	電力		却P課 動力	kWh/t 346	836,575	kWh/t 336 (△3%)	kWh/t 322	(767,495)	kWh/t	kWh/t	6.9%減	4.0%減	ı	
	削減		事務所 照明	kWh 11,438	5,296	kWh 11,095 (△3%)	kWh 11,863	(5,493)	kWh 425	kWh 768	3.7%增	6.9%増	ı	
	化	石燃	料削減		563,982			(602,218)			6.8%増		-	
エネルギー			却P課 灯油	L/t 12.34	161,038	L 11.97 (△3%)	L 12.38	(159,243)	L 0.05	L 0.42	0.4%増	3.5%増	停止頻度増	
使 用			却P課 LPG	kg 10	30		0	(0)	kg -10		-		_	
C O 2 の	かこつ 2 か化石燃	1	軽油	L 154,967	402,914	L 150,318 (△3%)	L 170,375	(442,975)	L 15,408	L 20,057	9.9%増	13.3%増	_	
削減他	料の削減		焼却P課	L/t 0.277	3,760	L/t 0.269 (△3%)	L/t 0.238	(3,182)	L/t -0.04	L/t -0.03	14.1%減	11.4%減	_	
			センターS 課	km/L 4.18	27,487	km/L 4.31 (3%)	km/L 4.91	(29,021)	km/L 0.73	km/L 0.60	17.4%増	14.0%増	作業車エコ運転他	
			環境整 備課	km/L 1.78	371,667	km/L 1.83 (3%)	km/L 1.71	(410,771)	km/L -0.07	km/L -0.13	4.0%減	6.8%減	作業車エコ 運転他	生産活動 増含む
	棄物	勿量	業課廃 削減(計 涂外)	t 30.0	11	- -	t 0	(0)	t -30	t	100.0%減		剪定屑 チップ化利用	
		使用	量削減	m³/t 8.33	17,311	m³/t 8.08 (△3%)	m³/t 6.06		m³/t −2.26	m³/t -2.01	27.2%減	24.9%減	_	
_) ブ 購 <i>]</i>										本年度	2品目の財	 青入を確認	
	購入の推進 ③ 社会貢献 への参加			⊧出係数:0.463ks		III and I find					等への参加			

※1:2017年度の電気事業者別二酸化炭素排出係数:0.463kg-CO2/kWh(九州電力㈱), https://ghg-santeikohyo.env.go.jp/files/calc/h31_coefficient_rev.pdf

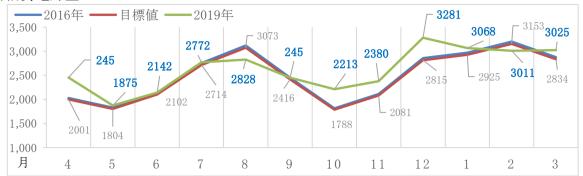
(3)統合したCO₂排出量

	基準年度	目標	実績	対基準年度	対目標
本社•営業部	46,952	46,248	41,053	-12.56%	-11.23%
日本製鉄事業本部	1,423,164	1,380,469	1,375,205	-3.37%	-0.38%
合計	1,470,116	1,426,717	1,416,258	-3.66%	-0.73%

7. 環境目標·活動計画管理表

(1)本社·営業部

1)消費電力量



夏場の電力使用は目標値に近い数値で抑えられているが、秋~冬の電力使用が大幅に増加している。

2)浄水使用量



節水の効果と雨水の活用、水使用実作業減で今年も目標を達成できた。

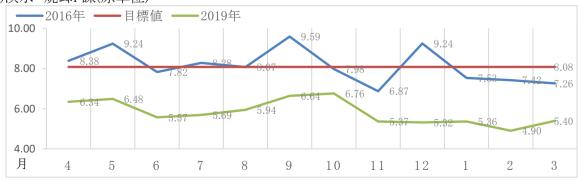
(2)日本製鉄事業本部

1)灯油 焼却P課(原単位)



停電や修理による休止の為、立上・立下げの頻度増が灯油の使用量増加につながり目標の 達成が出来なかった。

2)淡水 燒却P課(原単位)



2017・2018年度の改善活動の成果により大幅に目標を達成できた。

8. 活動の主な取り組み状況

- 1. 電力使用量削減
 - ・エアコンフィルター清掃
 - ・室外機の清掃
 - ・太陽光パネル洗浄







2. 燃料使用量削減

- ・ガソリン車20リットル、軽油車30リットル給油の徹底
- ・現場への稼働車両のスリム化
- ・各車両の啓発シール貼付での呼びかけ



3. 水使用量削減

- ・水道口の吐水量を調整
- ・各水道口への啓発プレートの設置
- ・雨水タンクの活用
 - ① 道具洗浄
 - ② 洗車時タイヤ洗浄





- 4. 環境と安全に配慮した施工管理
 - •道具を修理し再利用
 - ・情報を共有し作業の効率化を図る



要望,不具合。 修理直接依賴。	表名。 酒耗品在原服告 等 蘇北	道陽係 宮籍係
日秋 五名	PC B	WEST THE
核支	Web7用英智用シート	
67 342	uch frz- Yoksfa 不良	
0% 福達	施干班 (12.)	MITTER IN
0万 杨鱼	Und 14	三 7分集入
	竹为女子在自 计算入	
4	小海沙汁 坪县入	

5. 社会貢献

- ・毎月1日、本社周辺の清掃活動
- ・社内行事後の清掃活動(2019/4/7)





6. 従業員教育·訓練

- ・地震訓練(2020/2/5)
- •環境教育動画視聴(2020/3/7)





9. 環境法規一覧及び遵守状況 (1)本社・営業部

代表者	環境管理責任者	作成
藤澤	高畑	東

作成日 2020年9月5日

関係法令·適用条項	要求事項	確認者	確認 年月日	遵守 状況
建設リサイクル法	工事に係わる分別、再資源化の実施 再資源化完了の書面報告	東 晃史	2020.9.4	0
グリーン購入法 (第5条)	できる限り環境物品等を選択するよう努める	東 晃史	2020.9.4	0
道路交通法	全条項適用	東 晃史	2020.9.4	0
フロン抑制排出法	廃棄時の適正処理 エアコン等設備の自主点検の実施	東 晃史	2020.9.4	0
廃棄物処理法	産業廃棄物の運搬 マニフェスト伝票管理	東 晃史	2020.9.4	0
オフロード法	特定特殊自動車の定期検査・日常点検等	東 晃史	2020.9.4	0
森林法	主伐・間伐に係わる行政の許可・通知・届出	東 晃史	2020.9.4	0
自動車リサイクル法	リサイクル料支払い(発生時のみ) 廃棄時の適正処理(発生時のみ)	東 晃史	2020.9.4	0
下水道法	公共下水道管理者にあらかじめ提出 生活環境項目については、条例による	東 晃史	2020.9.4	0

^{*1:}遵守評価の結果、環境法規の違反はありません。又、関連当局からの指導や訴訟もありません。 *2:苦情なし。

(2)日本製鉄事業本部

作成日	改訂日	承認者	作成者
2014.9.17	2018.11.5	野中 隆彦	佐藤 誠

記録日 記録者 2020.8.28 佐藤 誠

	環境関連法規等の取りまとめ		守火泺	このチェック結果	
法律名等	要求事項	確認方法	確認 結果	評価	チェック者
	保管基準の遵守	現地にて状態を確認	0	廃棄物置き場は飛散も無 く、看板に汚れも無く適正 に維持できていた	釘宮 健
	許可業者への委託	帳簿にて確認	0	収集運搬は日進ルデナンス、処分は、産業振興のみでいずれも許可を持っていた	釘宮 健
	委託基準の遵守	委託契約書を確認	0	産業振興とは、水銀含有 廃棄物の条項を追加する 為、契約の見直しを行っ た	釘宮 健
	管理票(マニフェスト票)の交付	帳簿にて確認	0	収集運搬は日進メンテナンス、処分は、産業振興のみであった	釘宮 健
	管理票(マニフェスト票)の写しの保存期間	マニフェスト保管庫を確認	0	5年前の確認マニフェスト出 来た	釘宮 健
	管理票(マニフェスト票)の写しの送付を受けるまでの期間	電子マニフェスト システムにより確認	0	システムにより警告の機能が あるが全て期限内に処理 出来ていた	後藤 誠
	産業廃棄物処分受託者の管理票保管義務	マニフェスト保管庫を確認	0	5年前のマニフェストが確認 出来た	釘宮 健
	処理終了後の報告	担当者と承認者を決めチェックを行う	0	収集運搬は担当:神河、 承認:原田/処分は担当: 後藤、承認:佐藤で行って いた	釘宮 健
廃棄物処理法 (産業廃棄物の 処理)	中間処理受託者の報告	担当者と承認者を決 めチェックを行う	0	担当:後藤、承認:釘宮で 行っていた	釘宮 健
	産業廃棄物処理業の収集・運搬業の許可	大分市のみ 許可取得済み (許可証確認)	0	許可証期限を確認し期限 内であった	佐藤 誠
	産業廃棄物処理業の処分業の許可	大分市のみ 許可取得済み (許可証確認)	0	許可証期限を確認し期限内であった	佐藤 誠
	産業廃棄物処理業の処理基準	現場にてパトロール実施 により確認	0	毎月、マニフェ	原田 亮輔 (収運) 釘宮 健 (処分)
	帳簿の管理	帳簿にて確認	0	5年前の帳簿まで確認出 来た	釘宮 健
	産業廃棄物処理施設	許可証にて確認	0	許可証の確認が出来た	釘宮 健
	産業廃棄物処理施設の維持管理	操業データーにて確認	0	-	釘宮 健
	産業廃棄物処理施設の維持管理の公表	HPにて前月実績を公表	0	-	釘宮 健
	投棄禁止	現場にてパトロール 実施により確認	0	パトロールで廃棄物の投棄 は見られなかった	釘宮 健
	焼却禁止	現場にてハットロール 実施により確認	0	パトロールで廃棄物の投棄 は見られなかった	釘宮 健
	水銀等処理物の埋立基準に関する措置	1回/月の溶出試験に より確認	0	全て基準値以下であった	釘宮 健

	環境関連法規等の取りまとめ	遵	. ,	のチェック結果	
法律名等	要求事項	確認方法	確認 結果	評価	チェック者
	ばい煙測定結果の判断	トレント・グラフにて確認	0	前年の対策継続中	釘宮 健
	変更時の申請	年度末に届け出 内容の確認	0	都度届け出が行えていた	佐藤 誠
大気汚染	ばい煙測定の実施 結果の保存	年度末に測定 報告書の確認	0	半年ごとの測定の実施を 確認出来た	釘宮 健
防止法	協定値の遵守	トレント・グラフにて確認	0	各協定値以内であった	釘宮 健
	水銀排出施設の変更届	年度末に測定報告書の確認	0	該当事項はなかった	佐藤 誠
	水銀測定結果の判断	トレンドグラフにて確認	0	法に従い再測定を実施	釘宮 健
	水銀測定の実施結果の保存	年度末に測定報告書の確認	0	該当事項はなかった	釘宮 健
	排出基準	トレントグラフにて確認	0	排出基準値以下であった	釘宮 健
	特定施設の構造等の変更の届出	年度末に届け出 内容の確認	0	該当事項はなかった	佐藤 誠
ダイオキシン類	氏名の変更等の届出	年度末に届け出 内容の確認	0	該当事項はなかった	佐藤 誠
対策特別 措置法	排ガスの測定	トレント・グラフにて確認	0	排出基準値以下であった	釘宮 健
	燃え殻・ばいじんの測定	トレント・グラフにて確認	0	排出基準値以下であった	釘宮 健
	報告	年度末に報告 内容の確認	0	報告書を確認出来た	釘宮 健
	協定値の遵守	トレント・ケラフにて確認	0	排出基準値以下であった	釘宮 健
PRTR法	排出量等の把握及び届出	6月末に報告内容の確認	0	報告書を確認出来た	佐藤 誠
FRIRE	変更時の申請	年度末に届け出内容の確認	0	該当事項はなかった	佐藤 誠
消防法	点検の実施	年度末に点検結果の確認	0	点検報告書の確認が出 来た	釘宮 健
	変更時の申請	年度末に届け出内容の確認	0	該当事項はなかった	釘宮 健
大分市 火災予防条例	指定数量未満の危険物の貯蔵・取り扱い基準	取扱い時・各施設点検時確認	0	取扱い時・点検時確認出 来た	釘宮 健
騒音規制法	特定施設の数等の 変更の届出	年度末に届け出内容の確認	0	該当事項はなかった	佐藤 誠
道路交通法	安全運転管理者等	年度末に届け出内容の確認	0	該当事項はなかった	山本 進
士山フィッキョル	毒物又は劇物の取扱	現地にて施錠・台帳を確認	0	施錠・台帳が確認できた	森 史樹
毒物及び劇物 取締法	毒物又は劇物の表示	現地にて表示を確認	0	表示に汚れ破損がないことを確認	森 史樹
フロン排出抑制 法	管理第一種特定製品の点検に関する事項	点検簿にて確認	0	点検簿にて漏れ等がない ことを確認出来た	佐藤 誠
浄化槽法	保守点検	月末に点検内容の確認	0	点検内容を確認し良好で あった	姫野 敏雄
., 101812	条例による浄化槽の保守点検を業とする者の登録制度	年度末に許可証を確認	0	今回、登録年度であった	姫野 敏雄

*苦情なし。

10. 環境目標の評価と今後の対策(次年度の取組み)

(1)本社•営業部

環境目標		目標 達成率	評価	達成状況と今後の対策
二酸化炭素排出量削減		112. 7%	0	取り組みの結果、△11.2%で目標達成。 前年に続き効率よく削減できた。 次年度は基準値を見直しの為、目標達成の 対策を再考する。
エネ	電力消費量削減 (電気消費量)	94. 3%	×	取り組みの結果、+6.0%で目標未達。 新人の取組み認識不足と人員の意識の低下を 再度、共通認識させ、今後の取り組みに反映させる。
イルギー 使	ガソリン消費量削減 (ガソリン消費量)	120. 7%	0	取り組みの結果、△17.2%で目標達成。 次年度は基準値を見直しの為、大幅な削減は厳しい が僅かでも削減出来るよう対策を再考する。
量	軽油消費量削減 (軽油消費量)	124. 2%	0	取り組みの結果、△19.5%で目標達成。 次年度は基準値を見直しの為、大幅な削減は厳しい が僅かでも削減出来るよう対策を再考する。
売賃	売電量の維持管理		×	取り組みの結果、売電量△4.3%で目標未達。 天候に左右されやすく目標設定が難しい取り組みで はあるが、太陽光パネル洗浄等出来る事を行ない 目標達成に繋げたい。
水使用量削減		111. 0%	0	実作業の水使用量減、節水等により削減は出来たが 雨水は使用用途が限定される為、目標達成には至ら なかった。次年度は人員への周知徹底と用途の拡大 を再検討する。
環境と安全に配慮した 施工管理		100.0%	0	破損した道具を安易に廃棄せず、可能な限り補修し 再利用することで廃棄物減、コスト減に繋げた。 情報を共有し、道具機器、薬品等の管理を明確化する 事で作業の安全、効率化に努めた。
グリーン購入の推進		100.0%	0	グリーンマーク対象品購入の意識付けが定着出来て いる。引き続き取り組みを行なう。
廃棄物排出量削減 (剪定木くず、産業廃棄物)		100.0%	0	剪定木くずは、100%再資源化を維持出来ている。 次年度も引き続き行なう。
社会貢献への参加		108. 3%	0	月1回社屋周辺の清掃活動は継続中。 社内行事後の公共施設清掃活動も実施済み。 次年度も引き続き行なう。
従業員の教育・訓練		100.0%	0	毎月1回の教育・訓練は継続中。 次年度も引き続き行なう。

(2)日本鉄事業本部

(2)日本鉄事業本部				
環境目標		目標 達成率	評価	達成状況と今後の対策
二酸化炭素排出量削減		100. 4%	0	原単位で管理を開始して、3年目となったが、 前年に比べ更に夏場の熱中症対策でのエアコン の消費を推奨する風潮の中、焼却P課動力の動 力減によって達成出来た。2020年度は設定。
エネルギー使用量	焼却炉電力削減 (電力使用原単位)	104. 2%	0	取り組みの結果、原単位の削減は達成できたが 例年と同じく炉の冷却を行うためのIDFの稼働が 設備修理の為、多く発生していたが、今回は原単 位の増加まで至らなかった。しかし炉の老朽化に 伴い、補修の機会は増える傾向にある為、今後大 規模な修繕を計画中である。
	焼却炉灯油削減 (灯油使用原単位)	96. 6%	×	取り組みの結果、原単位・使用量共に増加した。 原因は、4・5・6・9・10・3月に立ち上げ火落とし の機会が多く、灯油の使用量増加につながった為 で、停電・修繕・故障の頻度を減らすことが、引 き続き今後の課題となる。
	軽油削減(焼却P課) (軽油使用原単位削減)	112. 9%	0	取り組みの結果、原単位・使用量共に減少した。 前年と同じく前処理への持ち込みの減少等で、原 単位・使用量共に削減出来ている。
	軽油削減(センターS課) (燃費向上)	114. 0%	0	特に暖気運転の短縮による、燃料使用量の削減と、業務対応の変化(送迎割合減、移動割合増)による、アイドリング時間の減少により走行距離が伸びた為、燃費が向上した。2020年度は設定。
	軽油削減(環境整備課) (燃費向上)	93. 2%	×	取り組みの結果、原単位・使用量共に増加した。 原因は、熱中症対策の為の夏場のエアコンの使用 頻度増で、今後も同様の対策を取る為、燃費の 向上は難しい。2020年度は設定。
水使用量削減 (水使用原単位削減)		133. 2%	0	2018・2019年度の改善活動の成果が大きく影響 し、削減に成功している。また、本年度の取組 は、年度末に完結している為、効果は次年度に期 待したい。
グリーン購入の推進		100%	0	今回も、2品目のクリーン購入が確認できた。
社会貢献への参加		-	0	日本製鉄㈱殿のクリーンアップ大分を中心に、ボラン ティア活動に参加できた。今後も少しずつ活動の 場を広げていきたい。

11. 代表者による全体の評価と見直し記録

代表者	環境管理責任者	記入者
藤澤	高畑•小畑	佐藤•東

作成日 2020年9月24日

評価対象の期間 実施期間(2019年4月~2019年3月)の活動

	·					
	本社•営業部					
見直	し実施日 2020年9月17日14時00分~	場所	本社2F	中会議室		
出席者	代表者:藤澤 幹夫 EA	21推進委員長:野口	中 隆彦(統括)	・・東 晃史		
山川石	環境管理責任者:高畑 淳一 事務	房局:明石 恵美				
	日本製鉄事業本部					
見直	し実施日 2020年9月17日14時30分~	場所	本社2F	中会議室		
出席者	代表者:藤澤 幹夫 EA	21推進委員長:野中	中 隆彦(統括)	・ 釘宮 健		
山川市石	環境管理責任者:小畑 誠司 事務	房局:佐藤 誠				

環境情報	環境管理責任者の所見	代表者コメント
1. 環境関連法規等の	2018度の、塩化水素超過を受け添加剤	2019年度末で塩化水素超過に関わる、
遵守状況確認結果	の増量及び廃棄物パトロールの強化、	特別対応が終結出来たが、同様の事
	測定頻度の増等の対応行ってきたが、	案が発生しない様、今回構築した管理
	暫定対策は本年度で終了し、自主測定	体制を今後ともしっかりと維持して欲し
	は無くなったが、パトロールは継続予定。	٧٠°
2. 環境目標の達成状況	本社も日本製鉄事業本部も、CO ₂ の削	燃料・電力共に原単位での結果が出な
	減を達成できたが、日本製鉄事業本部	かったのは非常に残念であるが、熱中
	は、CS課か以外の原単位は未達であっ	症対策で削減が難しい為、他の部分で
	た。しかし淡水使用量の削減では、改	努力をして欲しい。一方で改善提案で
	善活動で大きな成果が見ら得られた。	淡水使用量の削減は大きな成果が出
		ている。今後も新たな活動に期待。
3. 環境活動計画の実施状況	特に問題はなかった	継続する
4. 問題点の是正、予防の状況	特に問題はなかった	問題なし
5. 外部からの苦情の有無	苦情は、1件もなかった	問題なし
及び対応結果		
6. 環境上の緊急事態の訓練	本社でも昨年同様防災訓練を実施でき	本社も訓練の内容の充実を図る事。
結果及び対応結果	た。	日本製鉄事業本部は、より実践に則し
	日本製鉄事業本部では実践に則した、	た訓練の実施を行う事。
	夜間火災訓練等が行えた。	
7. その他	特に報告事項はなかった	問題なし

前年度問題点の是正及び指示事項

13 Self-3/C-11/ / C-2/ - 3 4 1 3					
項目	問題点、指示事項	今年度の結果			
特になし	_	-			

見直しの必要性判断と代表者の指示

①環境方針	新ガイドラインに適応するよう変更		
②環境目標	新規設定		
③環境活動計画	目標に合わせ変更		
④環境経営システン	新ガイドラインに適応するよう変更		
その他の指示	特に無し		

総括

ばい煙測定の超過の特別対応は終わったが、今回の様な環境トラブルを2度と出さない様、廃棄物パトロール 等の対策を継続して行うことと、構築した管理体制を維持していきたい。

また、環境目標に関しては、結果的にCO₂は削減出来ているが、原単位での削減が見られていない事をしっかりと認識しなければならないが、熱中症対策により難しい事も理解しているので、決めた対策を粛々と行っていく事が大切である。

次年度は新ガイドライン対応と新たな目標の設定の年となる為、今行っている活動をしっかり継続するとともに 新しい考え方や意識を取り入れ環境に強い人材の育成を行っていきたい。